

事業所名

児童発達支援 キッズさくら

支援プログラム

作成日

6年

10月

28日

法人（事業所）理念		この社会福祉法人は多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されることを創意工夫することにより、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、心身ともに健やかに育成され、又はその有する能力に応じた自立した日常生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として社会福祉事業を行います。					
支援方針		お子様の特性やその他の事情を踏まえて、個別支援計画書を作成し、これに基づき支援を行います。お子様の意思や人格を尊重して、常にそのお子様の立場に立った支援を行います。					
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	主たる保育園等の生活リズムを崩さないように、療育時間の配分（頻度・曜日・回数）を考慮しつつ、適切な日中活動量を工夫しながら、サービス提供の調整をします。					
	運動・感覚	様々な感覚・運動を経験し、姿勢保持や手足の協調運動などを促します。苦手な感覚があれば、制作活動や遊びを通して、少しずつ慣れていけるように支援します。					
	認知・行動	大きい集団の中で行動の苦手さがある場合には、小集団の中で行動できるように支援しつつ、大きな集団の中でも先生の支持が聞ける、わかる、理解して行動できるように支援します。					
	言語 コミュニケーション	対人関係や遊び・経験・絵本などを通じて、いろいろな気持ちを知り、大人が代弁することで気持ちを表出することの大切さわかってもらい、適切なタイミングでの要求表現を出せるように支援していきます。					
	人間関係 社会性	信頼できる大人との関係を深めながら、対人意識をひろげていきます。また、発達に応じて必要な社会性のスキルを本児がわかるように伝えていきます。					
家族支援		定期的な面談や日頃のご連絡を通して、保護者様と一緒に子育てとお子様の支援を考えてまいります。ご家庭でも取り組みやすい支援をご提案させて頂きながら、親子の関係を深めていけるよう支援します。			移行支援	必要に応じて、就学前の関係機関との情報共有や情報提供に努めます。	
地域支援・地域連携		本児の困り感などを減らせるように、また将来に向けて困るであろうことを予測しつつ、関係機関（保育園等・他の療育機関・小学校等）と情報共有や情報提供を必要に応じて連携していきます。			職員の質の向上	外部講師による研修の実施や見学研修を通して、職員の質の向上を図ります。	
主な行事等							